



公益社団法人 秋田県理学療法士会

Akita Physical Therapy Association NEWS

Vol. 206
Autumn

Partner

広がれ 秋田県理学療法士会員、そして地域との輪

新役員紹介

PTの街育

東北学会 in AKITA オンライン学会の表裏

理学療法週間公開講座 加齢を華麗に！

研修会・セミナー案内

会長のおゆみ／思い邪無し

発行：公益社団法人 秋田県理学療法士会

会長：菅原 慶勇

責任編集：佐々木杏奈

印刷：(株)秋田情報プリント

事務局：〒010-0921 秋田市大町1丁目2-40

TEL・FAX 018-867-1804 E-mail akitapt-home@ptakita.org

ホームページ <https://www.ptakita.org>



スガワラ ケイユウ
会長 菅原 慶勇

地方独立行政法人市立秋田総合病院

専門分野

専門理学療法士(内部障害・運動器)
協会指定管理者(上級)
地域ケア会議・介護予防推進リーダー
フレイル対策推進マネジャー
災害医療(日本DMAT、秋田JRAT)

会員の皆さんあっての士会です。皆さんの先には患者さん利用者さんの笑顔があることを感じながら、有益な情報ばかりを発信し続けます。引き続きご協力のほどよろしくお願いたします。



ストウ エリコ
副会長 事務局長 須藤 恵理子

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター

専門分野 中枢神経疾患

2016年6月より事務局長を務めております。会員の皆様方への研修事業をはじめとする、各種事業の土台となる事務作業を統括する役目を担っておりますが、もう少しこうした方がよいのではというご意見がありましたら、遠慮なくお聞かせください。



ハタケヤマ カズトシ
副会長 事業局長 畠山 和利

秋田大学医学部附属病院

専門分野 運動器

引き続き事業局長を拝命いたしました。事業局は会員の皆様と共に士会事業を担う場です。今後も充実した研修活動、事業展開の整備、運営に全力で取り組みたいと思います。今後も何とぞよろしくお願い申し上げます。





第40回東北理学療法学会大会では秋田県理学療法士会会員の方々に大変お世話になり、ありがとうございました。当会の理事に選んでいただき連続3期目となります。今年からは各委員会の担当理事として役を担うこととなりました。どうぞよろしくお願いいたします。



サタケ マサヒロ
委員会担当 佐竹 将宏

秋田大学大学院医学系研究科
保健学専攻理学療法学講座

専門分野 呼吸理学療法、義肢装具学



今期より総務部長を務めます。まだまだ未熟ですが、精一杯尽力させていただきます。よろしくお願いいたします。



シバタ カズユキ
総務部 柴田 和幸

市立秋田総合病院

専門分野 運動器・スポーツ・呼吸

新役員紹介 / 前編



皆様の会費を無駄にしないために、適正会計となるよう努力いたします。



マツハシ タカユキ
財務部 松橋 孝幸

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター

専門分野 脳卒中、神経系



この度、事業部担当理事を拝命いたしました。COVID-19の影響がある中ではございますが、会員の皆様の絆を深められるような取り組みを心掛けます。どうぞよろしくお願いいたします。



キモト ユウスケ
事業部 木元 裕介

秋田リハビリテーション学院

専門分野 教育(基礎理学療法、脳卒中理学療法)

PTの街育

Road 01

訪問リハの舞台裏 お見せします！

今号から新連載として、「PTの街育(まちづくり)」が始まります！本連載は、県北で訪問リハをベースに地域と密着した活動を続けていらっしゃる能代山本看護ステーションの **斉藤 進** 先生をモデルケースに、地域理学療法について学び、地域で暮らす人たちのために、私たちにできることを考えていこう！というコーナーです。

第1回は、斉藤先生のご紹介もかねて、先生の活動基盤である「訪問リハ」の実態に迫ります！

能代山本看護ステーションの **斉藤 進** です！
私の日頃の活動を 皆さんに紹介できる
ということで私自身 どんな記事になるか
とても楽しみです！
ぜひ最後までお付き合いください！



能代山本看護ステーション
斉藤 進 氏



訪問リハビリの理学療法士はどんな働き方をしてるの？

斉藤先生の1日/タイムスケジュール

- 8:30 8:30から業務開始！自宅から訪問車で1件目に直行します！タイムカードはなし。午前は2-3件訪問して回ります
- 12:00 お昼休みですが、午後に向けての移動も兼ねてます。お昼ご飯はお弁当。事務所や自宅で食べることもありますが、訪問ルートによっては車で済ませることも！
- 13:00 午後の訪問時間は17時まで。3から4件を回ります
- 17:30 すべての訪問を終えたら事務所に戻ります。上司への報告や同僚との情報共有、パソコンでの記録、物品整理などを行ったら業務終了です。自宅にも翌日に備えて、訪問車で帰ります
- 帰宅後 20時頃帰宅。週の半分くらいは晩酌もしますが、アルコールチェックがあるので飲みすぎないようにしています…。子どもと遊んだり、撮りためたテレビを見たり、利用者さんのためのDIYもよくしますね。趣味と実益を兼ねています！エルゴやサンドバックで運動もしますよ！

移動時にはラジオや音楽を聞きながら…
という楽しみもありますが
音を消して静かに 訪問の事を思い返すと
新たな発見や アイデアが思いつくことも…
これもまた訪問の魅力です

1日の平均走行距離は**82.7km**！
時間にすると**2時間49分**です！
運動好きじゃないと務まらない
仕事かもしれませんね…

訪問時の持ち物



訪問時の常備品は
**血圧計 聴診器 体温計 パルスオキシメータ
消毒用アルコール 筆記用具** です

さらに状況に応じて
**防護具 風船やゴムバンド等の運動アイテム
メジャーやゴニオメータ等の計測器 杖 体重計
空気入れ 工具(車椅子などの福祉用具や家屋
のちょっとした修理用)**
も持っています



訪問リハで意識していることは？



① 自宅に入る前に大事なこと！

自宅敷地内やその地域周辺に何か変化はないか？など、評価します。お宅によってルールがあり、車の止め方やどこから家に入るかなど決められた通りに行きます（窓から鍵を受け取るなんてパターンも！）。また、感染対策の徹底も重要です。

② 運動だけが訪問リハビリの役割ではない！

利用者様に挨拶したら、顔色を確認し、バイタルチェック（血圧、脈拍、体温、呼吸）、酸素飽和度の測定、精神状態の確認、服薬状況の確認、前回の訪問から変わったことがないか、自主トレの実施状況はどうか、水分や食事の摂取量、排尿や排便状況はどうかの確認を行います。中には、お薬カレンダーに残薬があったり、水分摂取量の足りない方がいらっしゃったりします。そんな時は、リハビリ開始前にお薬の整理をしたり、水分摂取を勧めます。「毎日きちんと食べているよ」と言っているけど、ご飯と缶詰だ

けとか、「夜トイレに起きる回数が多くなるので水分は摂りたくない」とか、「お金がかかるからエアコンはつけない」とか、聞かれることがよくあります。それぞれのお宅によって生活様式や価値観、経済状況などが異なりますが、在宅生活が維持できなくなるような状況でない限り、**ありのままを受け入れ尊重する姿勢で臨みます。**その上で「野菜ジュースを加えましょうか？」とか、「夕方までに多く水分摂るようにしましょう」とか、「室温が28度を超えたら【弱】でも良いのでエアコンのスイッチを入れましょう」などと提案するようにしています。

利用者様の身体の情報と同じくらい大切な情報となるのが**ご家族の情報**です。特に、主介護者に身体的、精神的ケアが必要な状態であったり、疲弊してしまっていたり、介護が行えない状況となれば、レスパイト入院やショートステイの利用等の検討を行う必要があります。**早期にご家族の異常に気付くのも大切です。**



自宅で困っていることや
近所付き合いの様子
地域の催し物や趣味
について話題にしたり

福祉用具の使用状態をチェックするなど
(杖先のゴムの劣化や車椅子の空気抜けなど忘れがち！)
幅広〜〜〜 注意を向けることが大切です
介入のヒントは色んなところに隠れています！

印象に残っているエピソードは？

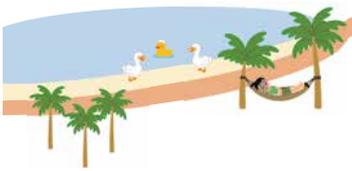


Impressive Episode：「茶まま、け！」

重度の左片麻痺により車椅子での生活を強いられても、在宅を強く希望し、一人暮らしをしている女性があります。一人で家事動作まで全てこなすことは難しいのですが、毎日ヘルパーさんが訪問し、洗濯や掃除、調理などをしてくれますし、息子さん・娘さんが買い物や調理など手伝ってくれます。その方はいつも私に「住み慣れた家で暮らすごどでめで幸せだ」「ヘルパーさんが家族の助けねば暮らさないね」と感謝の気持ちをお願いします。ある日の訪問時に「ヘルパーさんにごつつおすがど思っ、茶まま作ったがら、まづおめけ」（ヘルパーさんにご馳走しようかと思っ、炊き込みご飯作ったから、まずあなた食べてみて）、キッチンワゴンに乗っている炊飯ジャーから茶ままをよそってくれました。右手1本で頑張って調理して作ってくれたことが本当に嬉しかったですし、味が絶妙に甘じょっぱ

くて美味い！ただ、人参がやたらと多い。ん？私はふと気づきました。車椅子に乗りながらだと、高さ75cmのキッチンワゴンの上に乗っている炊飯ジャーの中身は見えません。うまく混ぜることもできず、しゃもじを持つ手の感覚だけでよそっていたので、たまたま人参が多く盛られてしまったのです。私はキッチンワゴンの台の高さを低くしようかと提案したところ「リハビリってそんならごどもやらったが。お願いす」と了解をいただきました。75cmについている天板を外し、約50cmの高さでビス止めしたところ、本人も覗くことができるようになり「中身の量までわかるようになった」と、とても喜んでくれました。**ちょっとした気付き、アイデアでADL、QOLを向上させることが可能になることもあります。**今でもたまたま茶ままを頂いています。





ずばり“訪問リハ”とは？

私が訪問リハに従事したての頃は、訪問して利用者様の身体機能やADL、IADL、家屋環境の評価をしてリハビリプログラムを立案、実施すること、学校で習った事を在宅で実施するのが、訪問リハだと思っていました。訪問先によって家屋の環境も違い、バリアフリーの環境を上手く利用してリハビリを実施したり、環境に合った福祉用具を導入したりと、生活している場だからこそできる介入のテクニックを身に付け実践していくというのが楽しくて仕方がなかったのを覚えています。ある時、ALSの方に訪問に入ったとき、「私は寝たきりでオムツしてるけど、トイレで排泄したい。パソコンでデジタルイラストを描きたい」と希望がありました。私はそこにもの凄いの衝撃を受けました。「寝たきりだからオムツ。寝たきりだからパソコンはできない。いやいやいや、この人の生きがいになるんだ。訪問リハってこういうことなんだよ」と思いました。今まで実施していた運動療法中心のプログラムを全て中止し、トイレでの排泄方法と椅子座位の検討に切り替えました。トイレでの排泄に関しては、廊下が狭くチルト・リクライニング車椅子では通れない、どうしよう、今まで養ってきた知識は役に立ちませんでした。ところが、主介護者の妻が



「私がおぶっていく」と妻のおんぶであっさり解決。デジタルイラストに関しては、パソコンデスクに車椅子が入らなかったため、元々の椅子を改良し、ポジショニングと上肢の介助でマウス操作ができるようになりました。妻が座位姿勢を作るのが難しかったため、訪問リハの時のみ実施。その後の訪問リハは、デジタルイラストを描くことが主になりました。この利用者様との経験が私の訪問リハに対する考え方を大きく変えるターニングポイントになりました。

在宅でのリハは、本当にたくさんの資源にあふれているといつも感じています。普段の生活そのものがリハビリの材料となり、回復の糧となり得る宝の山です。**訪問リハにおいて求められるのは、運動機能や栄養状態といった身体機能の改善だけでなく、利用者様の「〇〇がしたい」という意欲を引き出し、それを最大限に活かすことだと考えます。**結果的に、その人の生きがいや自己実現を支援することに、また、QOLの向上につながると思っています。

ただのトレーニングを指導より
本人の意欲に結びついた活動は
長続きしやすく
さらに訪問していない時間の充実につながると思っています

「〇〇がしたい！」
をどう引き出すか...
それが訪問リハの
尽きることなき課題であり
醍醐味でもあります！！

次回は...
円滑な地域連携
優しい街づくりのために
斉藤先生が地域の中で実践
していることをご紹介します
垣根のない理学療法士の働き
にご期待ください！



あつかれ
さまでした

東北学会 オンライン 学会の in AKITA

表裏

9月10日と11日の2日間、秋田県士会が担当となり開催された 第40回東北理学療法学会が成功裏のうちに幕を閉じました。今回は、開催報告にとどまらず、広報部が（理事自ら）オンライン学会の裏側も取材してきました！新しい試みが多い学会だっただけに、運営も新しいチャレンジの連続で、今までとはまた違った学会の舞台裏が見えてきました。

オンライン

表舞台

参加者1,000人越え！大好評！



大会長より皆様へ

第40回東北理学療法学会大会長

佐竹 将宏 (秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻理学療法学講座)

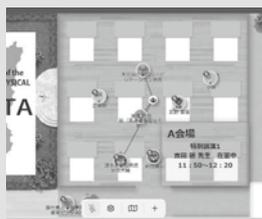
第40回東北理学療法学会（2022/9/10-11）は盛況のうちに幕を下ろすことができました。ひとえに秋田県理学療法士会会員の方々のご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。全88演題の半数以上が秋田県理学療法士会会員の方でした。参加申し込み者が1,000名を超える中で、秋田県からは最大の、200名を超える会員の方々から申し込みをいただきました。本当にありがとうございました。

コロナ禍に見舞われてからの東北理学療法学会も、この第40回大会で3回目でした。世間ではweb学会が当たり前となっている中、ブロック理事からは、参加者を惹きつけるような内容を盛り込むようにとの課題を与えられ、運営会議では、連日、頭を悩ませました。しかし、準備委員長の齊藤明先生を筆頭に、事務局長の松橋孝幸先生、学術局長の川越厚良先生、運営局長の福原隆志先生、そして副大会長の靱山日出樹先生、東北ブロック協議会の木元裕介先生から様々なアイデアが出され、魅力あるプログラムを組み込むことができました。領域別症例

検討シリーズ“Skill laboセミナー”、企業共催セミナー、「oVice(オヴィス)」というweb上での交流サイト、学会期間前後のオンデマンド配信など、参加者にはとても興味をもっていただけなものとお負しております。

今回、メインテーマを『栄養管理』としました。近年では理学療法を行う上で土台となる、見過ごすことのできないものとなっています。特別講演や教育講演では、日本を代表する先生方にご講演いただき、たくさんの方にご視聴いただきました。『これからの理学療法』を行っていくうえで役立つものと確信しております。

最後に、本学会の運営にあたり、各局各部で支えていただいた先生方に感謝申し上げます。先生方お一人おひとりのご活躍により、滞りなく本学会が運営できたことは間違いありません。大会長のお話をいただいてから約3年、秋田県理学療法士会会員全員で作りができた学会大会でした。重ね重ね、本当にありがとうございました。



▲ oViceの様子

▼ Skill Laboの様子



オンラインならではの新たな試みが魅力

ネットワーク上でのリアルなコミュニケーションを可能にするoViceが導入され、特別講演のあとには講師と参加者がゆっくりと直接対話できる時間が設けられました！オンラインの弱点を補う画期的な試みでした！

視聴者のコメントを受け取りながら進めるスタイルを目指したSkill Laboも「面白くて勉強になった！」とたくさん嬉しいコメントを頂きました。

第40回東北理学療法学会 学会賞 〈最優秀賞〉

最優秀賞には、なんと！秋田から五十嵐氏と木元氏の二演題が選ばれました！本当におめでとうございます！

演題名：皮膚筋炎治療中にステロイドミオパチーを呈した症例

演者：五十嵐 優子 氏（秋田県立リハビリテーション・精神医療センター）

演題名：一定の歩行速度へ誘導するための、プロジェクション・マッピングの応用

演者：木元 稔 氏（秋田大学大学院医学系研究科）

オフライン 舞台裏

未知の試みを支えたスタッフたちが殊勲賞！



全面オンラインの学会でありながら、各種挨拶や、Skill Laboのセッションは、スタジオからの生放送！?... だったのに気づきましたか？私もSkill Laboで司会を務めましたが、「どこのスタジオ？」と見てくれた方から連絡を頂きました。実は撮影場所は、秋田大学！講義室が写真のようにスタジオに早変わり！秋田スタジオさんのプロの仕事にリハーサルでスタジオ入りした時はため息が出ました。すごい！

慣れない大きなカメラに出演者たちはそろって「どこを見たらいいかわからない...」と苦笑い...そして、大会長の挨拶も原稿を手にも持たず、さすが！と思いきや、実は目の前の画面にカンペが流れる仕組み（笑）

画面からは見えないところにも、学会の新たな可能性をたくさん感じました。まるでテレビショーの裏側！





当日の学会運営は、オンラインで行われるため、部屋中に大量のパソコンが立ち並び、スタッフはパソコンの前で黙々と作業します。まるでオフィスさながら...これもまた今までの学会では見ることのない、異質な光景でした...

やはりオンラインならではのトラブルもあり、回線トラブル、講師や発表者がZoomに現れない（PC上だとZoomに入室しない限り、本人がいるかないか全く分からないのが難点ですね...）さらには、次々に鳴る問合せ電話への対応...本番当日の運営現場はさながら戦場でした。冷静に対応するスタッフの姿がとても頼もしい！！

学会も終わりに近づき、最後の挨拶を残すのみになったところで、表情にゆとりが出てきた佐竹大会長。渾身のピースサインです！（写真左）

学会終了後のスタッフへの挨拶で感極まり、声を詰まらせながら感謝を述べる齊藤準備委員長。これまでの苦労と無事やり遂げたという想いが臉に溢れていました。こちらも、もらい泣きです...。（写真右）



運営スタッフの皆さん 本当にお疲れ様でした！

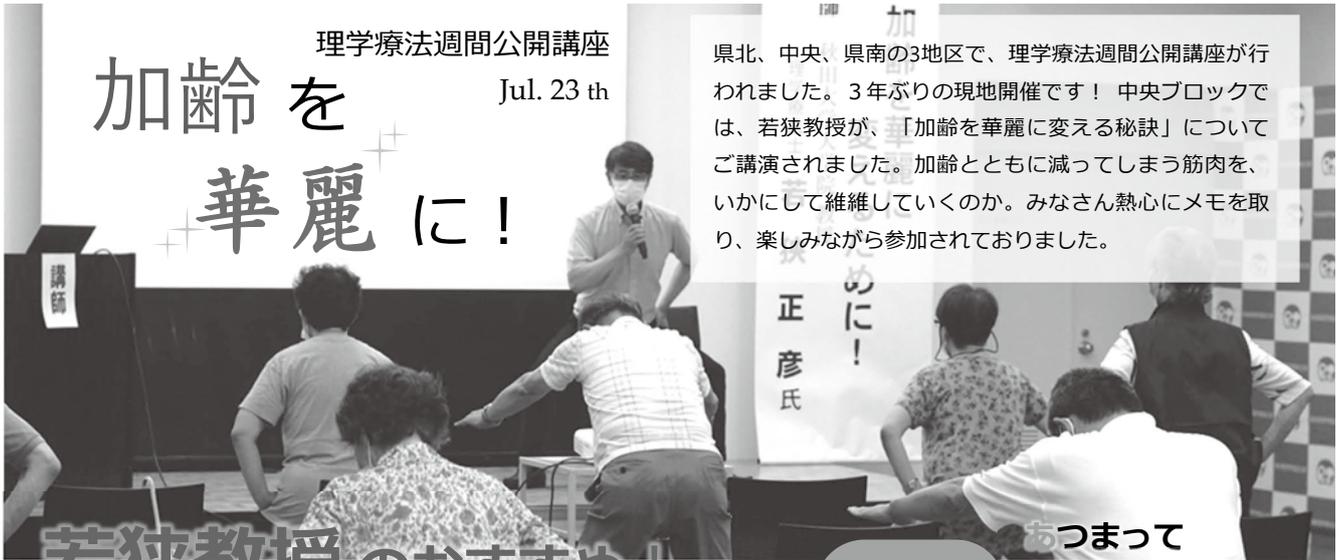
恒例の運営スタッフ集合写真！

でも、これは2日目に運営本部にいたスタッフのみなさんだけ。実際には1日目のスタッフや、別の場所から尽力したスタッフもいますから、写真の倍以上の人たちがこの学会を成功に導いてくれました。この規模のオンライン学会を運営するのは誰もが初めてで、予想できないトラブルもたくさんある中、見事な学会運営でした。本当にみなさんお疲れ様でした！

理学療法週間公開講座
Jul. 23 th

加齢を 華麗に！

県北、中央、県南の3地区で、理学療法週間公開講座が行われました。3年ぶりの現地開催です！中央ブロックでは、若狭教授が、「加齢を華麗に変える秘訣」についてご講演されました。加齢とともに減ってしまう筋肉を、いかにして維持していくのか。みなさん熱心にメモを取り、楽しみながら参加されておりました。



若狭教授のおすすめ！ いいあんべえ体操 Best 3

仲間と

あつまって
きがるに
たいりよくづくり！

肩甲骨の引き寄せ

● 5～10回



柔軟性 up!

ワイドスクワット

● 5～10回



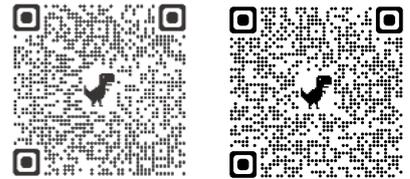
筋力 up!

両もも上げ

● 5～10回



いいあんべえ体操の詳細は、秋田市のホームページからご覧になれます。パンフレットは3種類あり、とても豊富な内容となっております。また、秋田市公式YouTubeチャンネルでもご紹介されておりますので、ぜひ一度ご覧になってみてください。



いいあんべえ体操パンフレット
Part1&2

スクワットは **歳の数** だけやります！



当日の運営スタッフと記念撮影 皆様お疲れ様でした！



秋田大学 大学院医学系研究科
若狭 正彦 教授

秋田県理学療法士会 R4年度 研修会

4th.

Web開催

参加費無料

▷ 脳卒中後運動障害に対する物理療法(仮)

日時：令和4年12月3日(土) 15:00-17:00

講師：生野 公貴 氏 (西大和リハビリテーション病院)



お問い合わせ先

秋田大学医学部附属病院リハビリテーション部

高橋 裕介 までご連絡ください

✉ chuokensyu.akita@gmail.com

参加登録はオンライン(マイページ)からお願いします!

※ 研修部からのお願い ※

締切を過ぎてしまうと、ポイント付与や参加が原則できなくなります。

余裕を持っての参加申請をお願い致します。

第27回秋田県理学療法士学会からのお知らせ

12月から演題募集が始まります。多くのご応募をお待ちしております。

皆様、12月に向けて今からは是非ご準備をお願いします!

第27回テーマ 「肺理学療法を科学する-エビデンスに基づいた理学療法計画-」

学会長 菅原 慶勇 (市立秋田総合病院) 日時 令和5年6月17日(土)

実行委員長 川越 厚良 (市立秋田総合病院) 会場 ハイブリッド開催を予定



専門領域研究班 セミナー案内

新人のみなさんにも

推奨

各領域の研究班では 初学者でも参加しやすい内容で研修会を企画しております。参加費は無料です! 今年度の開催予定期日を掲載しています(多少前後する可能性はございます)。是非ご参加頂きますようお願い致します。

運動器



令和4年11月29日(火)

もうすぐ!

神経



令和5年2月24日(金)

老年期



令和4年12月13日(火)

循環器



令和5年1月18日(水)

スポパラ



令和4年11月11日(金)

もうすぐ!

会長のあゆみ

7～9月会長活動記録



Cartoon by MomentCam

- | | | | |
|------|-------------------------------|---------|--------------------------------|
| 7.1 | 秋田県医師会長小泉氏と懇談(秋田市) | | |
| 7.6 | 秋田県リハビリテーション専門職協議会定例会議(Web) | | |
| 7.7 | 第一回秋田県スポーツ医学委員会(秋田市) | | |
| 7.8 | 当会50周年記念式典についてホテル側と打ち合わせ(秋田市) | | |
| 7.13 | 日本理学療法士協会士会支援事業運営会議(Web) | | |
| 7.19 | 秋田県介護人材確保対策事業(秋田市) | | |
| 7.22 | 秋田県ニーズ発表会打ち合わせ会議(Web) | | |
| 7.23 | 理学療法週間公開講座(秋田市) | | |
| 7.24 | 日本理学療法士協会士会支援事業第一回フォーラム(Web) | 8.22 | 日本呼吸ケアリハビリテーション学会東北支部代議員会(Web) |
| 7.25 | 潟上市障害者自立支援審査会(潟上市) | 8.24 | 秋田大学渡邊教授と懇談(秋田市) |
| 7.27 | 運動器理学療法研究班セミナー(Web) | 8.24 | 東北ブロック協議会学術大会意見交換会(Web) |
| 7.30 | 日本呼吸ケアリハビリテーション学会東北(Web) | 8.31 | 当会50周年記念事業準備委員会(秋田市) |
| 7.30 | 第7回JRAT北海道東北新潟ブロック | 9.1 | 当会50周年記念事業準備(秋田市) |
| | リハビリテーションコーディネーター連携推進委員会(Web) | 9.8 | 令和4年度第二回東北ブロック協議会理事会(Web) |
| 8.3 | 秋田JRAT会議(Web) | 9.10～11 | 第40回東北理学療法学術大会、座長(Web) |
| 8.8 | 日本理学療法士協会第二回士会支援事業運営委員会(Web) | 9.13 | 日本理学療法士協会第2回士会支援事業運営部会(Web) |
| 8.17 | 士会理事会ならびに三役会議(Web) | 9.20 | 離職者予防講習会講師(Web) |
| 8.19 | 令和4年度自立支援介護予防普及トップセミナー(Web) | 9.26 | 潟上市障害者自立支援審査会(潟上市) |

よこしま 思い邪無し 一会長の想いをつづる



【今回はCM! ?】

たまたまついていたテレビで論客たちがコロナ禍の対応について喧々諤々としていた。それぞれ聞く耳を持たず平行線で終始している。「ロバとおやこ」を思い出した。ロバを売るため、父親と息子がロバを引いていくのだが、道行く先々それを見た人々から「ロバを連れているのに乗らないなんて馬鹿だ」とか、「ロバに父親が乗って息子がかわいそうだ」とか、はたまた「ロバに息子が乗るなんて親不孝だ」とか、挙句の果てに「ロバに親子で乗ってかわいそうだ」といわれた末に、ロバを二人で担いで運び、暴れたロバが川に落ちて死んでしまう寓話だ。何事にも判断・決断は必要で、それには目的が伴う。臨床現場はその応酬だと感じる。不安な患者は、ネットや友人らから見聞きした情報を症状に重ねまくし立てる。われわれは、最適な治療等を導き出すためにPDCAを繰り返し、将来を予測したうえで判断した過程を説明し納得していただく。ああでもないこうでもないで試行錯誤することも必要だが、裏打ちされた根拠は是非知識として持っておきたい。来年、何故か秋田学会長を引き受けることになった。一日で呼吸器疾患を診ることができるタイムテーブルを考えている。お楽しみに!

菅原慶勇

思い邪無し：
「論語」より。人々の詩を詠む心について述べた一節。
嘘偽りのない純粹さの意。

ニュース編集班より

今期よりニュース編集班班長を務めることになりました広報部の佐々木です。前任の加賀屋先生の足元にも及びませんが、皆様にとって親しみやすい「ParTner」となるよう作成していきたく思いますのでこれからよろしくお願ひいたします。まずは206号が発行でき、安堵しております。

ニュース編集班では掲載記事のご相談もお待ちしております。次回ニュースの原稿締め切りは12月16日（金）です。宜しくお願い致します。

連絡・送付先：akita.ptnews@gmail.com

問い合わせ先：秋田県立循環器・脳脊髄センター 機能訓練部 佐々木杏奈

Tel：018-833-0115 Fax：018-833-2104 E-mail：sasaki-anna@akita-hos.or.jp

学校法人 コア学園
秋田リハビリテーション学院

厚生労働大臣指定・秋田県知事認可校

平成27年4月開校
秋田県初!
理学療法士養成専門学校

理学療法学科

4年課程

40名定員



〒010-0065 秋田市茨島一丁目4-80
TEL 018-865-0188 FAX 018-864-6137 URL <http://www.core-akita.ac.jp/arc/>

●応援します! 医療と福祉を確かな技術で

有限会社 共栄メディカル

●総合医療機器 ●理化学器械 ●福祉用具レンタル ●介護用品 ●厨房設備機械 ●業務用洗濯機械

〒014-0102 秋田県大仙市四ッ屋字水木田33
〒010-0964 秋田市八橋鯉沼1-35 サニーハイツ102

TEL 0187-66-2123 (代)
FAX 0187-66-2139
☎ 0120-971-294

信頼の医療機器

株式会社 秋田医科器械店

代表取締役 池ヶ谷 敏之

本社 〒010-1423 秋田市仁井田字中谷地30-2
Tel.018-839-3551(代) Fax.018-839-3546

横手営業所 〒013-0064 横手市赤坂字大道向2-4
Tel.0182-32-8311(代) Fax.0182-32-8313

能代営業所 〒016-0014 能代市落合字上釜谷地189番
Tel.0185-52-0024(代) Fax.0185-54-7319

有限会社 秋田ブレース

義肢 装具 コルセット 車椅子各種杖

〒019-2621
秋田県秋田市河辺諸井字野田96-5
TEL/FAX 018-882-2116

帝人ヘルスケア株式会社

東北支店 秋田営業所

秋田県秋田市大町3-4-1 NLP秋田ビル 7階



(社)日本義肢協会
登録・東北119号

厚生労働省指定工場

義肢・装具・コルセット・車椅子・各種杖

株式会社 佐々木義肢製作所

代表取締役 佐々木 和憲

本社 〒980-0801 仙台市青葉区木町通二丁目3-3(木町通小学校前)
TEL (022) 274-1181(代) FAX (022) 274-1183
支店 〒010-0973 秋田市八橋本町二丁目7-1
TEL (018) 862-7204(代) FAX (018) 862-9347
〒036-8227 弘前市大字桔梗野二丁目16-12
TEL (0172) 33-1150(代) FAX (0172) 33-1153

一般社団法人日本義肢協会加盟・東北101号



株式会社 千秋義肢製作所

代表取締役 佐々木雅伸

義手・義足・装具・車椅子・リハビリ用品

秋田市新屋豊町1-22

TEL 018-823-3380 FAX 018-862-5126

<http://www.sensyu-gishi.co.jp>